

滋賀県支部

滋賀県観光産業の課題と成長への提言

―遊び、スポーツ体験と温泉資源を融合させ、健康増進のまちづくり― (遊びだおれの街コンセプト)

滋賀県は琵琶湖をはじめとする風光明媚な山々等自然環境に恵まれ、社寺、仏閣など歴史的遺産、四季を通じたスポーツ、レクリエーション、地域の祭り、琵琶湖花火大会等イベントをも含め近畿圏の中でも特に多彩な観光資源に恵まれた地域であるといえる。

しかしながら3次産業の中でも観光産業に関しては、その客体である観光客の入込客数調査を見ると、その伸びは5年間決して増加傾向を示してはいない結果である。中小企業診断協会滋賀県支部では、このことに着目し、有数の観光資源に恵まれている県内観光産業のさらなる活性化によって、資源の有効活用、もって県内経済総生産向上に寄与できないかに立脚し、現状分析から観光産業活性化への提言までをまとめるべく委員会を発足させマスターセンター補助調査・研究事業を企画した。

特に観光資源の中で埋もれた資源と思える、県内に点在する温泉資源について、その効用は老若男女各層に喜ばれての観光客増加によって、温泉地域をはじめ関連産業の活性化への効果が高いものと判断し、イメージ（ポジショニング）分析、公表調査報告データの分析、事業者アンケート及びSWOT分析（強み、弱み分析）等調査分析手法を広範囲に活用、効果的な発言につながることを意図して「温泉観光産業の課題と成長への提言」と題して推進することになった。

データを基にした分析から、滋賀県の強み、弱みを考察すると、豊かな自然、大阪、京都近隣との良好なアクセスの強みと、温泉資源の活用、宿泊させる力が弱いなど多く課題が挙げられ、それらへの展開策を研究し、機会と脅威の分析から提言内容へと進めていった。

この中で、大阪の「食いだおれ」、京の「着だおれ」にあやかって、滋賀（近江）の「遊びだおれ」をコンセプトとして設定し、豊かな自然を活用するスポーツ、レクリエーションの場を老若男女に提供し、手軽な運動からマニア指向スポーツまで滋賀で遊んで、滋賀の温泉で身体を癒し、そして宿泊してもらい、健康と観光を兼ねた施策への展開を進める内容について、県内地域ごとに課題を整理しつつ具体的な提言としての方向付けができた。

現在も県下地域エリアごとに観光事業は大変活発であり、報告書本文巻末にまとめた一覧表のように滋賀県は観光資源の宝庫である。琵琶湖周回JR線も整備され、道路整備とともに各地のアクセスは一層便利になったことを利用して、地域エリアの観光資源のさらなる活性化推進と、全県一丸のもとで行うべく観光施策項目を県下地域ごとに提言結果としてまとめるに至った。

これらの調査、分析、提言活動は中小企業診断士会員として今後の事業所診断、地域診

断助言実務にも大きく役立つものとなり、また本報告内容が観光産業活性化に向けて関係各位で効果的に活用される資料になることを願っている。